

平成25年度

単位施策評価表

所属 28700000

建設水道部 水道工務課

施策	1201 上水道の整備・管理						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
単位施策目的	効率的かつ安定的な水の供給、水道統合事業の推進、既設管路の適切な維持・管理・更新等を図る。						
成果指標	①行政区域内普及率 ②有収率						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [%]	予定	88.50	88.90	89.30	89.60	90.00
		実績	89.40				
	成果指標2 [%]	予定	77.70	78.30	78.90	79.50	80.00
		実績	75.90				
		単位コスト	48,921.53				
	成果指標3 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
トータルコスト (千円)	予定	4,263,222			0	0	
	実績	3,713,144			0	0	
内部評価	貢献度	全ての事業を遂行することにより、基本施策が目指す安全で良質な水の安定供給を図ることができる。					
	達成状況	普及率は達成しているが、有収率については指標を下回っている。					
	課題	配水管や施設が老朽化しており、配水管の布設替え等により漏水や故障による事故を少なくする。また、未普及地域の解消が必要である。					
	取組方針	老朽化した配水管や施設を計画的に布設替えや改修を行い、また、水道未普及地域は、地元との打合せ・調整により普及を促進し事業の実績向上を図る。					
外部評価	普及率については、引き続き目標達成に向けて努力願いたい。 有収率については、適正な水道料金の設定や経費削減に大きく影響するため、漏水検査の実施や老朽管の改修を計画的に進めながら、目標必達に向けて努力願いたい。 本市の水道水の水質や水道事業に係る設備投資などのコストについて、市民に分かりやすく公表する取組みを実施すべき。これは水道料金の設定の際に、市民の理解を得るための大きな根拠となるため早急に実施願いたい。 本施策では効率的で安定的な水の供給を目指しているが、安全で良質な水の供給も重要である。						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	153201	専用水道事業等委託費				1,450	100
	461101	水道事業管理事業費 [総係費]				218,909	100
	461201	その他営業費用				0	100
	461301	消費税				32,721	100
	461401	雑支出				0	100
	461501	過年度損益修正損				6,345	100
	461601	予備費				0	100
	461701	支払利息				190,884	100
	461801	水道事業会計繰出金				306,598	100
461903	国庫補助金返還金				1,671	100	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 25 年度

会計	款項目	事業区分	02 政策的事業	新規/その他	2 その他	基本施策	単位施策	
事業名	管路耐震化事業費	464304				安全で良好な水資源の確保	上水道の整備・管理	
担当部署	建設水道部	水道工務課	工務担当	建設管理チーム				
係担当チーム名	2 自治事務	相模法令等	地方公営企業法	水道法				
事業の性質	2					事業期間 H18 ~ H30	年度	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、誰(向)を、どのような方法で、どうしたいのか、対象、手段の記入) (管路の耐震化を図るため、耐震管への布設替えを行う。) 【主要事業】						全体事業費 (人件費除)	783,000 千円

単位：千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
市支出金	60,000	0
その他特財	0	0
一般財源	31,570	58,874
事業費 a	91,570	58,874
人件費 b	2,501	2,299
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	94,071	61,173
結果指標 1	12.00	10.00
結果指標 2	113.00	112.00

事業の内容	その成果
平成24年度 ・第2浄配水場の配水ポンプ増設(都賀) ・家甲地内配水管布設工事(都賀) ・老朽管布設工事(都賀) ・下水道関連工事(都賀)	平成25年度 ・都賀町平川地内配水管布設管工事(都賀) ・西方町金井地内配水管布設管工事(西方) ・配水管布設管設計業務委託等
平成24年度 決算総事業費88,706千円	

事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	無
算出方法	指標名	漏水管数	漏水管数 (平成25年度目標 10か所)	VP管総延長	VP管総延長 (平成25年度目標 112m)	単位	件	km				

(改善内容とその効果を具体的に記入)
 配水管を耐震化することにより、大地震にも漏水事故の危険性を減らし、水道水を安定して供給することができる。また、漏水が減少することにより無駄な費用を抑えることができコストも削減される。

事業

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	款項目	予算事業コード	事業区分	02 政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策
事業名	栃木市水道統合事業費							安全で良好な水資源の確保	上水道の整備・管理
担当部署	建設水道部	水道工務課	工務担当	建設管理チーム	担当者	青木 宏之	主 1201		
担当職員	2	自治事務	根拠法令等	水道法	地方公営企業法			事業期間	H26 ~ H30 年度
事業の性質	事業期間のない事業は平成30年度の目標 (事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)の目標) 安全・安心な水を安定的に供給する。								
事業の概要	【主要事業】 (事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、種(物)を、どういう方法で、どうしたいのが、対象、手段の記入) 水道事業の統合に伴い、安全・安心な水を安定的に供給するため、浄水・配水施設等の整備を行ない、各施設間のネットワークを構築する。								

単位：千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金		
県支出金		
市支出金		
その他財源		
一般財源		
事業費 a		
人件費 b		
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c		
結果指標 1		
結果指標 2		

平成24年度

平成25年度

事業の内容 その成果

達成目標
成果目標
①行政区域内普及率 5年間(H25~H29)普及率90.0%(現状値87.8%)
②有収率 5年間(H25~H29)有収率80.0%(現状値75.5%)

事業費・指標の推移	算出方法	単位	事業の事後評価	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
指標名	管路布設延長 (平成26年度 新規事業)	km	妥当性	受益者負担	無	有
管路布設延長	整備箇所数 (平成26年度 新規事業)	箇所	妥当	適正	無	有
整備箇所数			有	有		
結果指標 1			有	有		
結果指標 2			有	有		

(改善内容とその効果を具体的に記入)
各施設間の浄水・配水施設を整備することにより、安全・安心な水を安定的に供給することができる。

事業改善計画

事後評価